

富山県内の中小企業動向調査

ファーストTrend

2023年4月号

CONTENTS

1. 中小企業動向調査 [2023年1～3月実績/4～6月見込/7～10月予測]
2. 富山県内の中小企業の業況と脱炭素への取組状況について

中小企業動向調査（2023年3月末日基準）

この調査は、富山県内企業310社からのアンケート結果をまとめたものです。

企業の調査資料として、2023年1月～3月の実績、2023年4月～6月の見込み、2023年7月～9月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
310（646）
うち、製造業52社、非製造業258社

調査時期：2023年4月

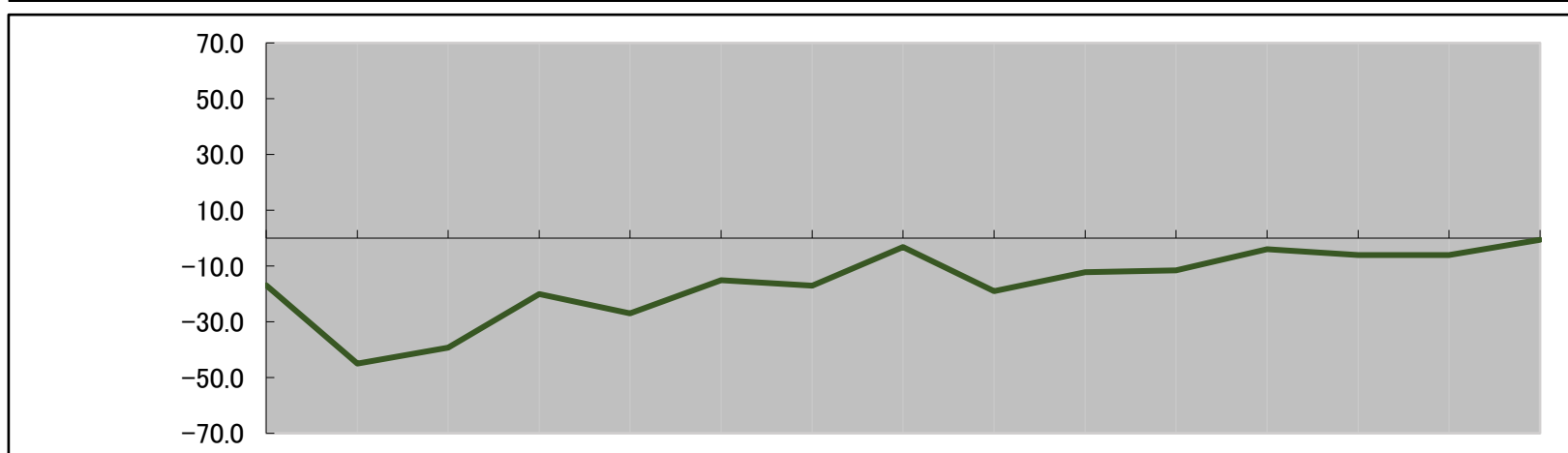
方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2023年5月に公表した「富山県金融経済クォーターリー2023年春」によると、「富山県の景気は持ち直している。最終需要をみると、個人消費は着実に持ち直している。住宅投資は、減少している。設備投資は増加している。～（抜粋）当地製造業の生産は、弱含んでいる。」とあります。今回のアンケート結果からもわかるように、製造業の業況については悪化傾向がみられており、原材料高、景気動向の不透明さが原因だと考えられます。半面、非製造業についてはコロナ禍からの脱却により若干ではありますが明るい兆しがみえてきていると言えます。ただし、製造業・非製造業ともに原材料高、賃金高騰等の影響は避けられず、どのように企業業績を維持、回復させていくかが重要となってくると考えられます。

I. 企業業況

企業業況の推移……（全産業）

		（％）												見込	予測	
種別	期別	2020				2021				2022				2023		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	15.0	9.1	11.8	16.8	14.1	17.3	15.4	22.0	17.4	17.2	16.3	22.6	20.7	13.3	15.5
普	通	53.1	36.8	37.1	46.4	44.8	50.4	52.1	52.8	46.2	53.5	55.8	50.9	52.4	67.3	68.3
悪	い	31.9	54.1	51.1	36.8	41.1	32.4	32.5	25.2	36.4	29.4	27.9	26.5	26.9	19.4	16.2
D . I .		-16.9	-45.0	-39.2	-20.0	-27.0	-15.1	-17.1	-3.2	-19.0	-12.2	-11.6	-4.0	-6.1	-6.1	-0.6



富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、マイナス6.1となり、前回より2.1ポイント悪化しました。

先行きについては、1-3月と変わらずマイナス6.1となっており、現在の状況は継続すると考えられますが、7月以降は回復傾向となっています。

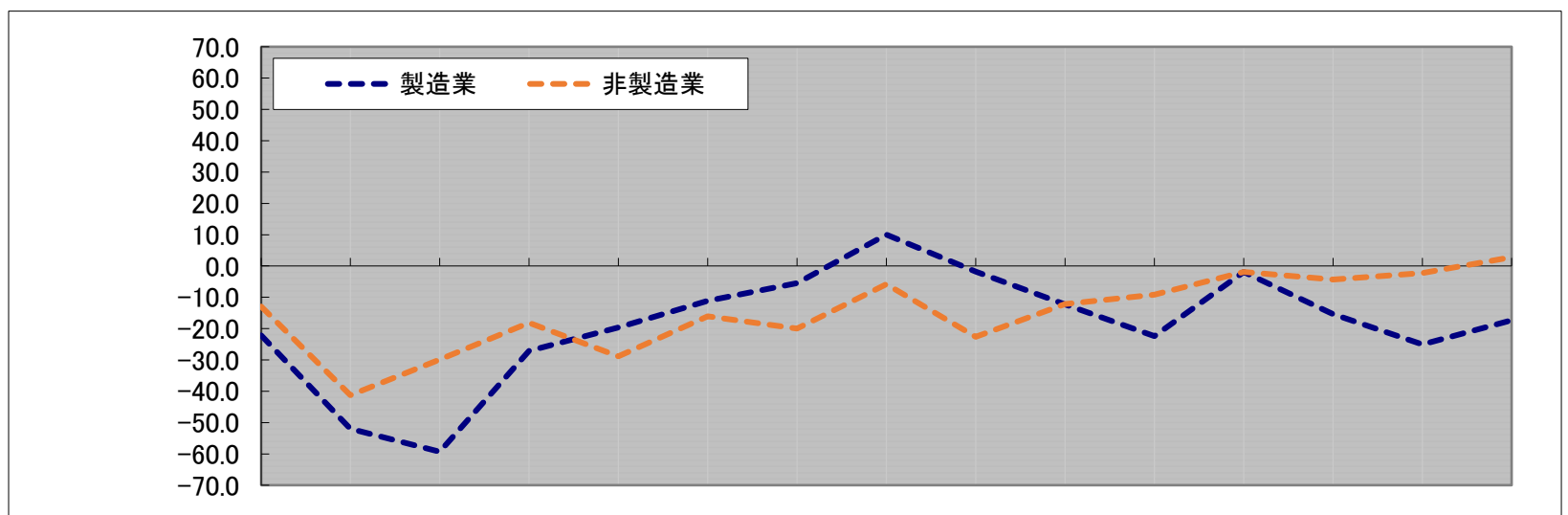
I. 企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

		（%）												見込	予測	
		2020				2021				2022				2023		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	13.9	7.8	8.5	20.3	17.6	20.4	23.6	36.7	30.9	24.6	15.5	26.4	25.0	7.7	15.4
普	通	50.0	32.5	23.7	32.2	45.1	48.1	47.3	36.7	36.4	38.6	46.6	45.3	34.6	59.6	51.9
悪	い	36.1	59.7	67.8	47.5	37.3	31.5	29.1	26.7	32.7	36.8	37.9	28.3	40.4	32.7	32.7
D . I .		-22.2	-51.9	-59.3	-27.1	-19.6	-11.1	-5.5	10.0	-1.8	-12.3	-22.4	-1.9	-15.4	-25.0	-17.3

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）												見込	予測	
		2020				2021				2022				2023		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	15.8	9.8	13.4	15.8	13.2	16.5	13.3	19.2	14.6	15.7	16.5	21.8	19.8	14.4	15.6
普	通	55.5	39.2	43.3	50.2	44.7	50.9	53.3	55.9	48.3	56.4	57.9	52.0	56.0	68.9	71.6
悪	い	28.8	51.0	43.3	33.9	42.1	32.6	33.3	24.9	37.2	27.9	25.7	26.2	24.1	16.7	12.8
D . I .		-13.0	-41.3	-29.9	-18.1	-28.9	-16.1	-20.0	-5.8	-22.6	-12.2	-9.2	-1.9	-4.3	-2.3	2.8



製造業と非製造業に分けてみると、製造業は業況判断指数D.I.は マイナス15.4となり、前回より13.5ポイントの大幅な悪化となりました。非製造業ではマイナス4.3となり、前回より2.4ポイント悪化しました。製造業では今後もマイナス幅は拡大する予想です。ただし、7月以降は回復予想となっています。非製造業は4月から9月に向けて改善傾向を示しており、7-9月では業況D.I.はプラスとなる予想です。

II. 売上高状況

売上高状況の推移……（全産業）

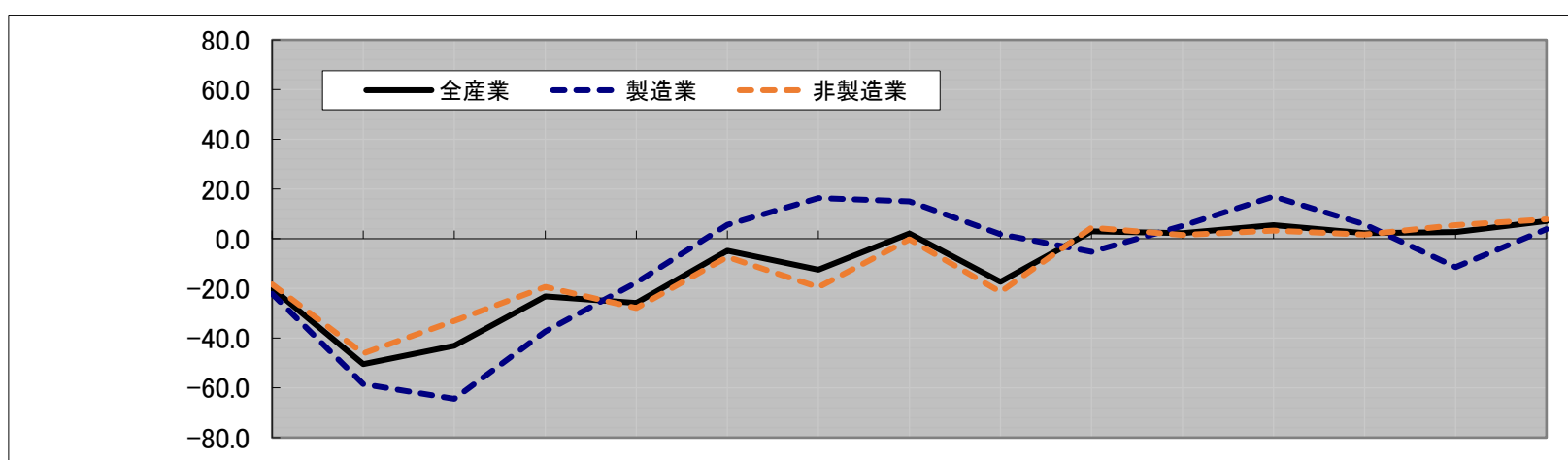
		（%）												見込	予測	
		2020				2021				2022				2023		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増	加	15.3	10.0	14.0	20.0	17.7	24.6	20.0	28.4	16.8	27.6	25.7	27.7	26.5	19.1	21.7
横	ばい	49.4	29.5	29.0	36.8	38.7	46.0	47.5	45.3	49.1	47.7	50.8	50.0	49.2	64.4	63.8
減	少	35.3	60.5	57.0	43.2	43.5	29.4	32.5	26.3	34.2	24.7	23.5	22.3	24.3	16.5	14.6
D	I	-20.0	-50.5	-43.0	-23.2	-25.8	-4.8	-12.5	2.1	-17.4	2.9	2.2	5.5	2.3	2.6	7.1

売上高状況の推移……（うち製造業のみ）

		（%）												見込	予測	
		2020				2021				2022				2023		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増	加	16.7	7.8	5.1	15.3	23.5	29.6	30.9	40.0	27.3	24.6	32.8	37.7	34.6	17.3	23.1
横	ばい	44.4	26.0	25.4	32.2	35.3	46.3	54.5	35.0	47.3	45.6	39.7	41.5	36.5	53.8	57.7
減	少	38.9	66.2	69.5	52.5	41.2	24.1	14.5	25.0	25.5	29.8	27.6	20.8	28.8	28.8	19.2
D	I	-22.2	-58.4	-64.4	-37.3	-17.6	5.6	16.4	15.0	1.8	-5.3	5.2	17.0	5.8	-11.5	3.8

売上高状況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）												見込	予測	
		2020				2021				2022				2023		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
増	加	14.3	11.2	18.1	21.3	16.2	23.4	17.3	26.2	14.6	28.2	24.1	25.8	24.9	19.5	21.4
横	ばい	53.1	31.5	30.7	38.0	39.6	45.9	45.8	47.3	49.4	48.1	53.3	51.6	51.8	66.5	65.0
減	少	32.7	57.3	51.2	40.7	44.2	30.7	36.9	26.5	36.0	23.7	22.6	22.5	23.3	14.0	13.6
D	I	-18.4	-46.2	-33.1	-19.5	-27.9	-7.3	-19.6	-0.3	-21.5	4.5	1.5	3.3	1.6	5.4	7.8



売上高D.I.は全産業ではプラス2.3となり、前回より3.2ポイント悪化しました。しかしながら、4月以降も売上高D.I.はプラス圏内に留まる予想となっており、売上が大幅に減少する傾向は見られません。製造業と非製造業に分けてみると、製造業ではプラス5.8となり、前回比で11.2ポイント悪化しました。4-6月の予想ではマイナス11.5となっており製造業では今後売上に影響が出ると予想されます。非製造業はプラス1.6となり、前回比で1.7ポイント悪化しました。4月以降についてはプラス幅が増加していく予想です。

Ⅲ. 製品在庫水準

製品在庫水準の推移……（全産業） (%)

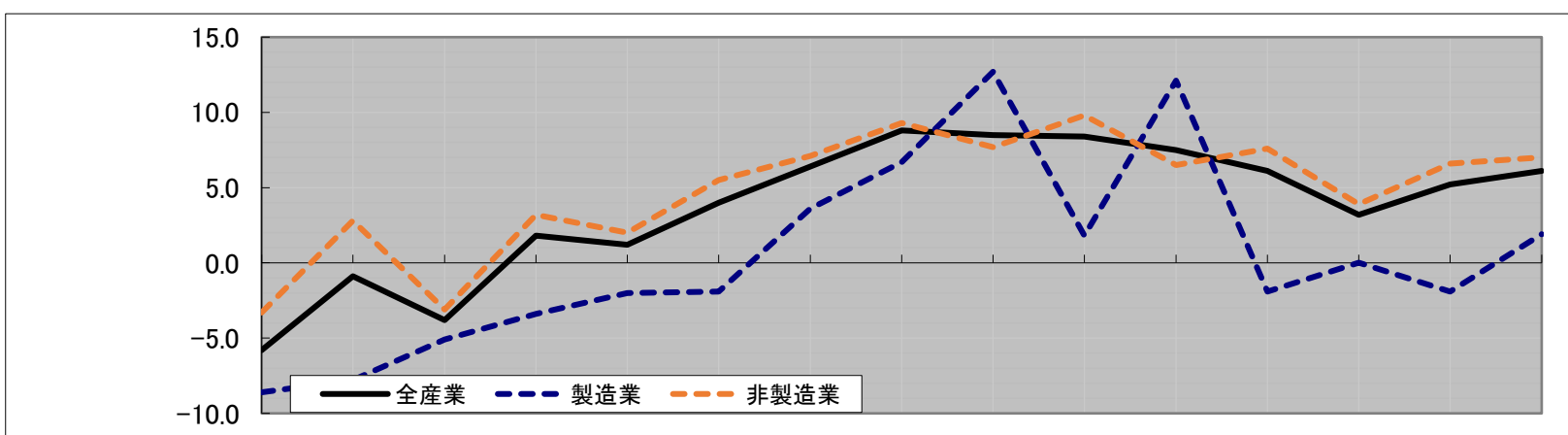
	2020												2021				2022				2023			見込	予測
	1～		4～		7～		10～		1～		4～		7～		10～		1～		4～	7～					
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	3月	6月	9月							
不足	3.1	9.1	7.5	7.9	8.5	10.3	12.1	12.3	13.3	13.1	13.2	11.0	9.7	9.4	9.4										
適正	88.1	80.9	81.2	86.1	84.3	83.5	82.1	84.2	82.0	82.3	81.2	84.1	83.8	86.4	87.4										
過剰	8.8	10.0	11.3	6.1	7.3	6.3	5.7	3.5	4.7	4.7	5.6	4.9	6.5	4.2	3.2										
D . I .	-5.8	-0.9	-3.8	1.8	1.2	4.0	6.4	8.8	8.5	8.4	7.5	6.1	3.2	5.2	6.1										

製品在庫水準の推移……（うち製造業のみ） (%)

	2020												2021				2022				2023			見込	予測
	1～		4～		7～		10～		1～		4～		7～		10～		1～		4～	7～					
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	3月	6月	9月							
不足	1.9	5.2	5.1	5.1	7.8	7.4	12.7	10.0	16.4	10.5	19.0	11.3	15.1	9.6	9.6										
適正	87.6	81.8	84.7	86.4	82.4	83.3	78.2	86.7	80.0	80.7	74.1	75.5	69.2	78.8	82.7										
過剰	10.5	13.0	10.2	8.5	9.8	9.3	9.1	3.3	3.6	8.8	6.9	13.2	15.4	11.5	7.7										
D . I .	-8.6	-7.8	-5.1	-3.4	-2.0	-1.9	3.6	6.7	12.7	1.8	12.1	-1.9	0.0	-1.9	1.9										

製品在庫水準の推移……（うち非製造業のみ） (%)

	2020												2021				2022				2023			見込	予測
	1～		4～		7～		10～		1～		4～		7～		10～		1～		4～	7～					
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	3月	6月	9月							
不足	4.1	11.2	8.7	8.6	8.6	11.0	12.0	12.8	12.6	13.6	11.9	10.9	8.6	9.3	9.3										
適正	88.4	80.4	79.5	86.0	84.8	83.5	83.1	83.7	82.4	82.6	82.8	85.8	86.8	87.9	88.3										
過剰	7.4	8.4	11.8	5.4	6.6	5.5	4.9	3.5	5.0	3.8	5.4	3.3	4.7	2.7	2.3										
D . I .	-3.3	2.8	-3.1	3.2	2.0	5.5	7.1	9.3	7.7	9.8	6.5	7.6	3.9	6.6	7.0										



製品在庫水準D.I.はプラス3.2となり前回比マイナス2.9ポイントとなりました。

製造業は0と前回より1.9ポイント改善しました。在庫は一時的に増加しているものの、9月にかけて落ち着く予想をしています。非製造業はプラス3.9と前回より3.7ポイント悪化しましたが、9月に向けて改善予想です。

IV. 資金繰り状況

資金繰り状況の推移……（全産業）

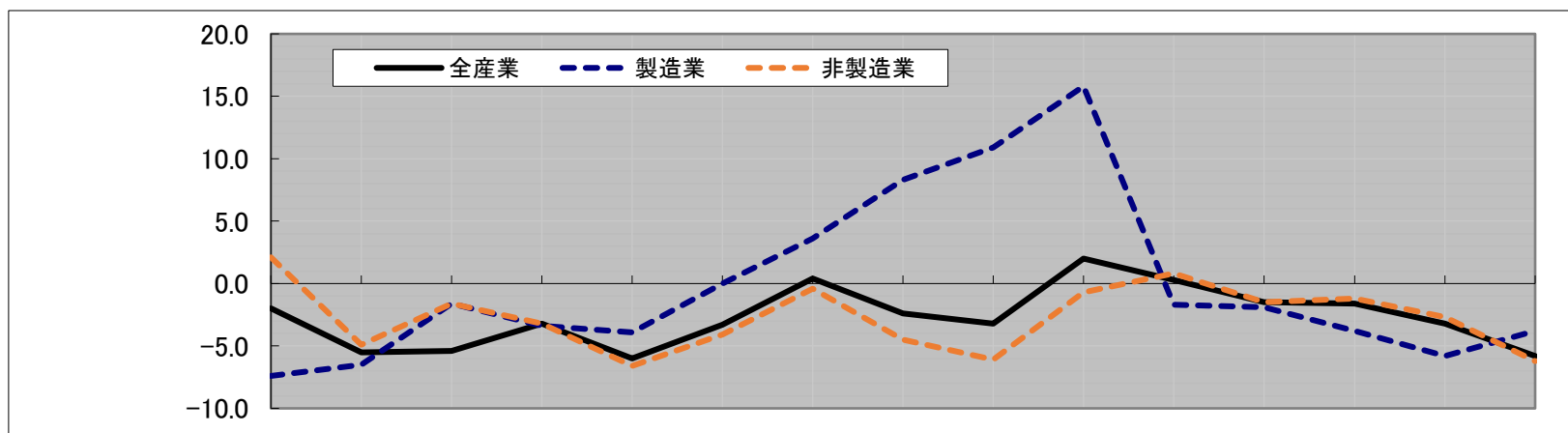
	2020												2021				2022				2023			見込	予測
	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	5~										
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	7月										
ゆるい	8.3	14.1	15.1	13.2	13.3	14.0	16.8	13.4	15.8	16.9	15.0	14.9	16.8	14.2	11.4										
普通	81.5	66.4	64.5	70.4	67.3	68.8	66.8	70.8	65.2	68.3	70.2	68.6	64.7	68.3	70.9										
厳しい	10.2	19.5	20.4	16.4	19.4	17.3	16.4	15.8	19.0	14.8	14.7	16.5	18.4	17.5	17.5										
D.I.	-2.0	-5.5	-5.4	-3.2	-6.0	-3.3	0.4	-2.4	-3.2	2.0	0.3	-1.5	-1.6	-3.2	-5.8										

資金繰り状況の推移……（うち製造業のみ）

	2020				2021				2022				2023			見込	予測
	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~		
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月		
ゆるい	7.4	15.6	6.8	15.3	11.8	14.8	18.2	20.0	21.8	21.1	12.1	7.5	13.5	11.5	9.6		
普通	77.8	62.3	72.9	66.1	72.5	70.4	67.3	68.3	67.3	73.7	74.1	83.0	69.2	471.2	76.9		
厳しい	14.8	22.1	20.3	18.6	15.7	14.8	14.5	11.7	10.9	5.3	13.8	9.4	17.3	17.3	13.5		
D.I.	-7.4	-6.5	-1.6	-3.4	-3.9	0.0	3.6	8.3	10.9	15.8	-1.7	-1.9	-3.8	-5.8	-3.8		

資金繰り状況の推移……（うち非製造業のみ）

	2020				2021				2022				2023			見込	予測
	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~		
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月		
ゆるい	8.9	13.3	18.9	12.7	13.7	13.8	16.4	12.1	14.6	16.0	15.7	16.4	17.5	14.8	12.1		
普通	84.2	68.5	60.6	71.5	66.0	68.3	66.7	71.2	64.8	67.2	69.3	65.8	63.8	67.7	69.6		
厳しい	6.8	18.2	20.5	15.8	20.3	17.9	16.9	16.6	20.7	16.7	14.9	17.8	18.7	17.5	18.3		
D.I.	2.1	-4.9	-1.6	-3.2	-6.6	-4.1	-0.4	-4.5	-6.1	-0.7	0.8	-1.5	-1.2	-2.7	-6.2		



資金繰り状況D.I.は全産業でマイナス1.6と前回比1ポイント悪化しています。製造業においてマイナス幅が顕著であり、マイナス3.8と前回比1.9ポイント悪化しています。非製造業はマイナス1.2と前回比0.3ポイント改善しています。このマイナス幅は4月以降も全産業とも拡大していくと予想しており、原材料高、人件費高等コスト増加が影響していると考えられます。

V. 利益状況

利益状況の推移……（全産業）

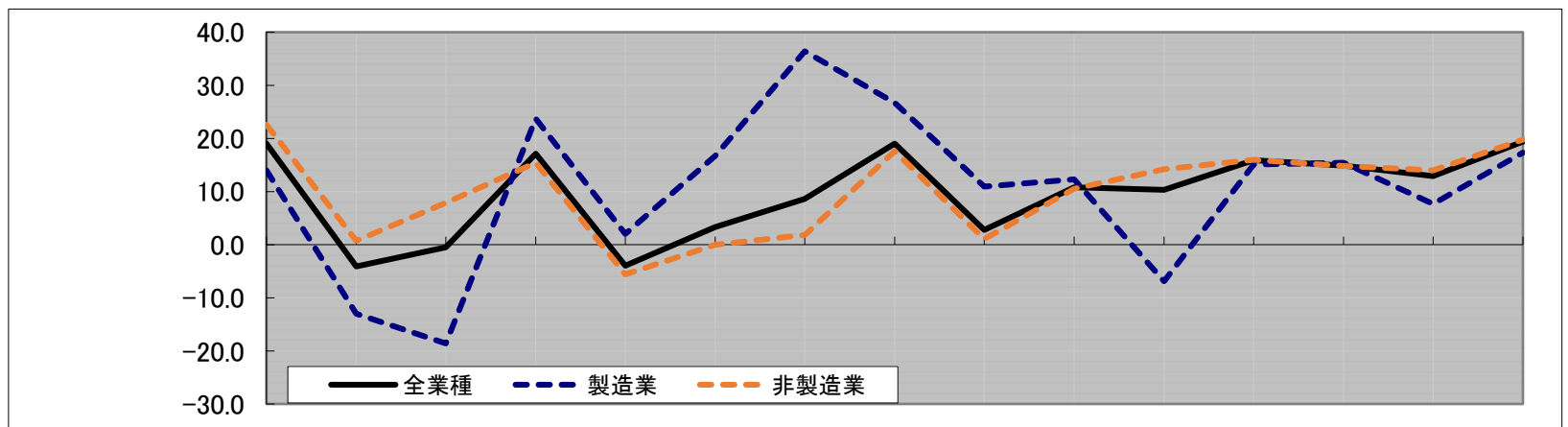
	2020												2021				2022				2023			見込	予測
	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~										
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月										
黒字	43.1	33.6	33.9	44.6	31.5	34.2	38.6	42.9	36.7	34.6	35.4	42.4	39.8	32.4	32.7										
収支トントン	32.8	28.6	31.7	27.9	33.1	34.9	31.4	33.2	29.4	41.6	39.5	31.1	35.3	48.2	54.0										
償却後赤字	24.1	37.7	34.4	27.5	35.5	30.9	30.0	23.9	33.9	23.8	25.1	26.5	24.9	19.4	13.3										
D . I .	19.0	-4.1	-0.5	17.1	-4.0	3.3	8.6	19.0	2.8	10.8	10.3	15.9	14.9	12.9	19.4										

利益状況の推移……（うち製造業のみ）

	2020												2021				2022				2023			見込	予測
	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~										
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月										
黒字	44.9	32.5	25.4	54.2	39.2	42.6	54.5	55.0	41.8	38.6	29.3	41.5	46.2	30.8	34.6										
収支トントン	24.3	22.1	30.5	15.3	23.5	31.5	27.3	16.7	27.3	35.1	34.5	32.1	23.1	46.2	48.1										
償却後赤字	30.8	45.5	44.1	30.5	37.3	25.9	18.2	28.3	30.9	26.3	36.2	26.4	30.8	23.1	17.3										
D . I .	14.0	-13.0	-18.6	23.7	2.0	16.7	36.4	26.7	10.9	12.3	-6.9	15.1	15.4	7.7	17.3										

利益状況の推移……（うち非製造業のみ）

	2020												2021				2022				2023			見込	予測
	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~										
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月										
黒字	41.8	34.3	37.8	42.1	29.4	32.1	34.7	40.6	35.6	33.8	36.8	42.5	38.5	32.5	32.3										
収支トントン	39.0	32.2	32.3	31.2	35.5	35.8	32.4	36.4	29.9	42.9	40.6	30.9	37.7	48.6	55.3										
償却後赤字	19.2	33.6	29.9	26.7	35.0	32.1	32.9	23.0	34.5	23.3	22.6	26.5	23.7	18.7	12.5										
D . I .	22.6	0.7	7.9	15.4	-5.6	0.0	1.8	17.6	1.1	10.5	14.2	16.0	14.8	14.0	19.8										

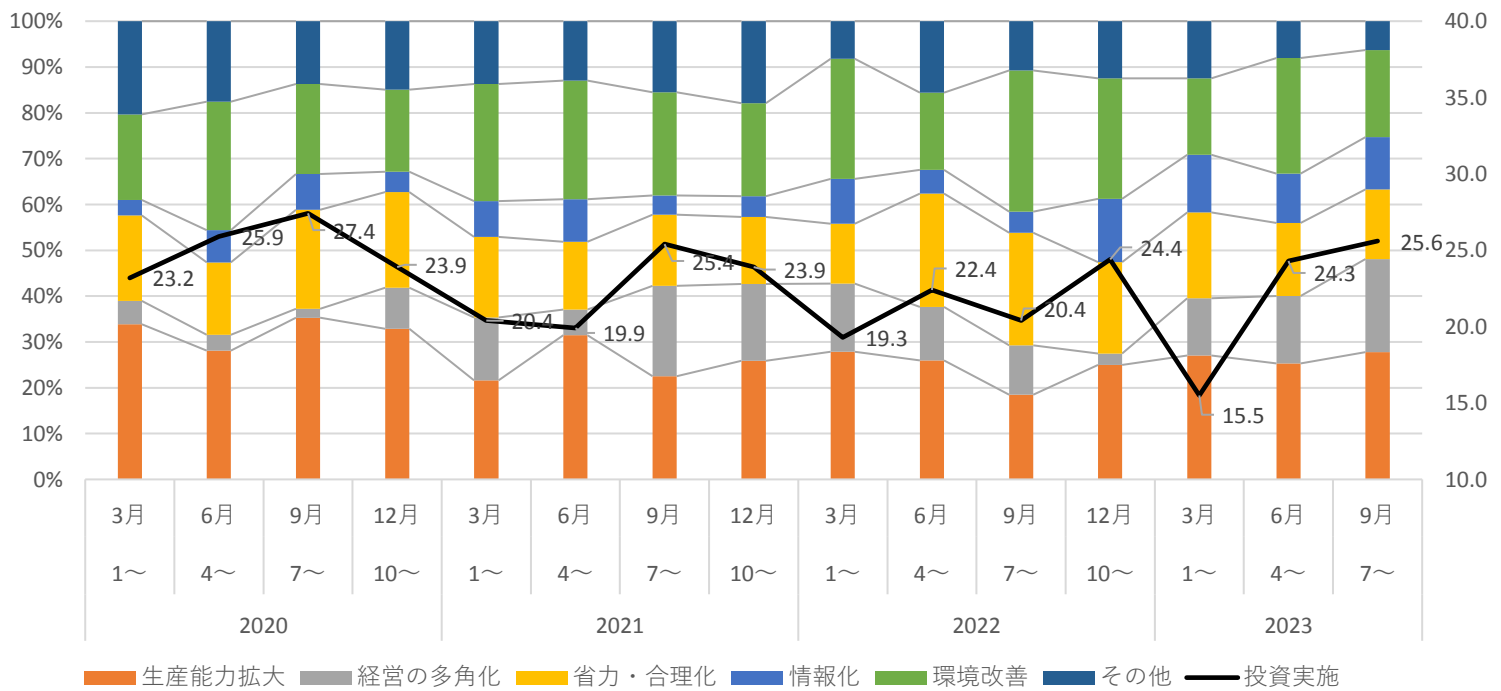


全産業の利益状況D.I.は14.9と前回比1.0ポイントの悪化となっています。製造業では15.4と0.3ポイントの改善、非製造業では14.8と1.2ポイントの悪化となっています。4-6月は若干の悪化を予想していますが、7-9月にかけて全産業とも改善予想です。

VI. 設備投資動向

	2020												2021				2022				2023			見込	予測
	1~3月		4~6月		7~9月		10~12月		1~3月		4~6月		7~9月		10~12月		1~3月		4~6月	7~9月					
	投資実施	23.2	25.9	27.4	23.9	20.4	19.9	25.4	23.9	19.3	22.4	20.4	24.4	15.5	24.3	25.6									
投資せず	76.8	74.1	72.6	76.1	79.4	80.1	74.6	76.1	80.7	77.6	79.6	75.6	84.5	75.7	74.4										

	2020												2021				2022				2023			見込	予測
	1~3月		4~6月		7~9月		10~12月		1~3月		4~6月		7~9月		10~12月		1~3月		4~6月	7~9月					
	生産能力拡大	33.9	28.1	35.3	32.8	21.6	31.5	22.5	25.8	27.9	26.0	18.5	25.0	27.0	25.3	27.8									
経営の多角化	5.1	3.5	2.0	9.0	13.7	5.6	19.7	16.8	14.8	11.7	10.8	2.5	12.5	14.7	20.3										
省力・合理化	18.6	15.8	21.6	20.9	17.6	14.8	15.5	14.6	13.1	24.7	24.6	20.0	18.8	16.0	15.2										
情報化	3.4	7.0	7.8	4.5	7.8	9.3	4.2	4.5	9.8	5.2	4.6	13.8	12.5	10.7	11.4										
環境改善	18.6	28.1	19.6	17.9	25.5	25.9	22.5	20.2	26.2	16.9	30.8	26.3	16.7	25.3	19.0										
その他	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	13.0	15.5	17.9	8.2	15.6	10.8	12.5	12.5	8.0	6.3										



設備投資を実施した企業は15.5%となり、前回は8.9ポイント下降しています。原油高、原材料高を受け設備投資意欲が減退しています。しかし、6月以降は設備投資意欲は回復の見込みです。

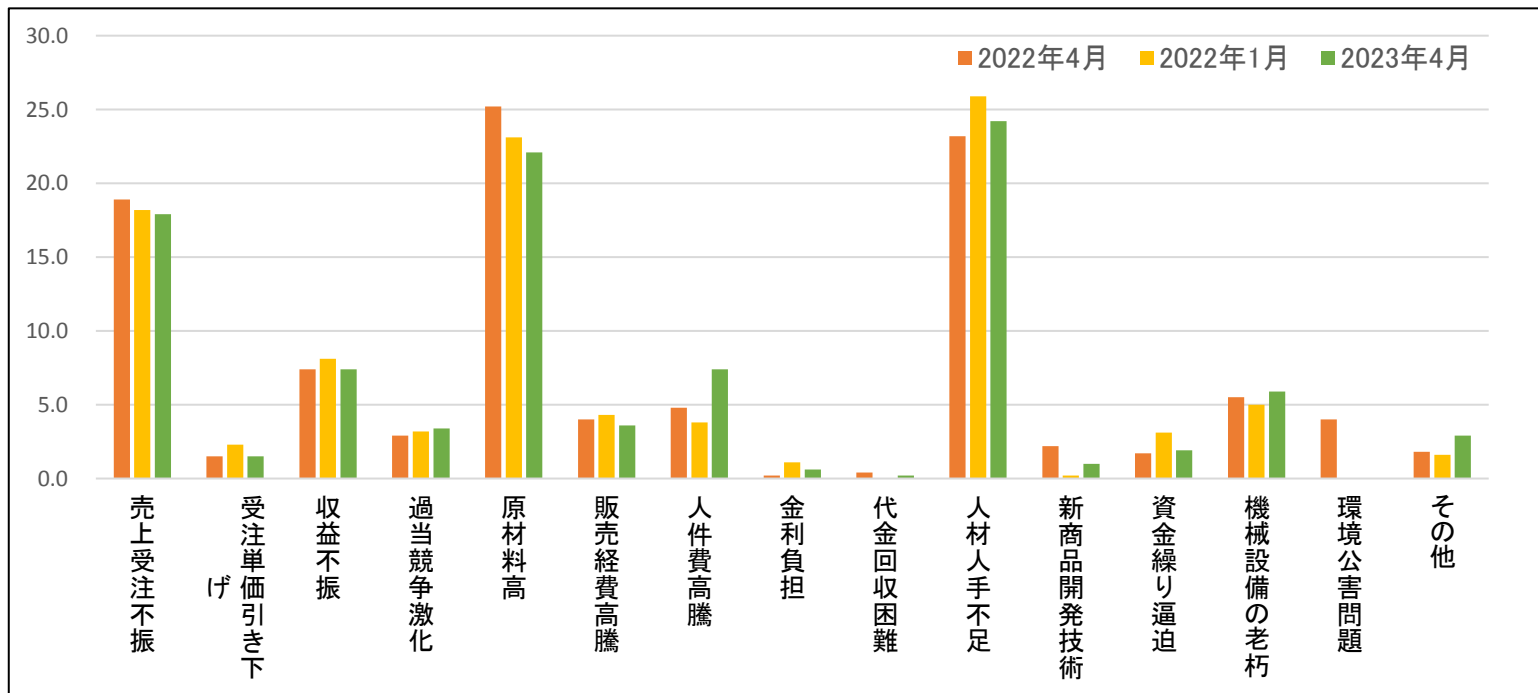
設備投資を実施した目的については、「経営の多角化」が12.5%となり前回は10.0%上昇しました。

「環境改善」については16.7%と前回は9.6%下降しました。

Ⅶ. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	2022年4月 (前年同月)	2022年1月 (前回)	2023年4月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	18.9	18.2	17.9	16.5	18.2	▲ 0.3
受注単価引き下げ	1.5	2.3	1.5	1.0	1.6	▲ 0.8
収益不振	7.4	8.1	7.4	7.2	7.5	▲ 0.7
過当競争激化	2.9	3.2	3.4	0.0	4.2	0.2
原材料高	25.2	23.1	22.1	28.9	20.6	▲ 1.0
販売経費高騰	4.0	4.3	3.6	3.1	3.7	▲ 0.7
人件費高騰	4.8	3.8	7.4	8.2	7.2	3.6
金利負担	0.2	1.1	0.6	0.0	0.7	▲ 0.5
代金回収困難	0.4	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2
人材人手不足	23.2	25.9	24.2	21.6	24.8	▲ 1.7
新商品開発技術	2.2	0.2	1.0	1.0	0.9	0.8
資金繰り逼迫	1.7	3.1	1.9	0.0	2.3	▲ 1.2
機械設備の老朽	5.5	5.0	5.9	10.3	4.9	0.9
環境公害問題	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.8	1.6	2.9	2.1	3.0	1.3



当面の経営上の問題点として前回より引続き「人材人手不足」が最も多く24.2%となっています。次いで高い項目は「原材料高」の22.1%となります。しかし、前年同月比△3.1ポイントとなっており減少傾向にあります。これは販売価格の転嫁が少しずつ進んでいる等があげられます。注視すべきポイントとして、昨今の人材不足、インフレ影響による賃金上昇圧力により人件費高騰が7.4%と前回比3.6ポイント増加していることがあげられます。

富山県内の中小企業の現在の業況と脱炭素への取組状況について

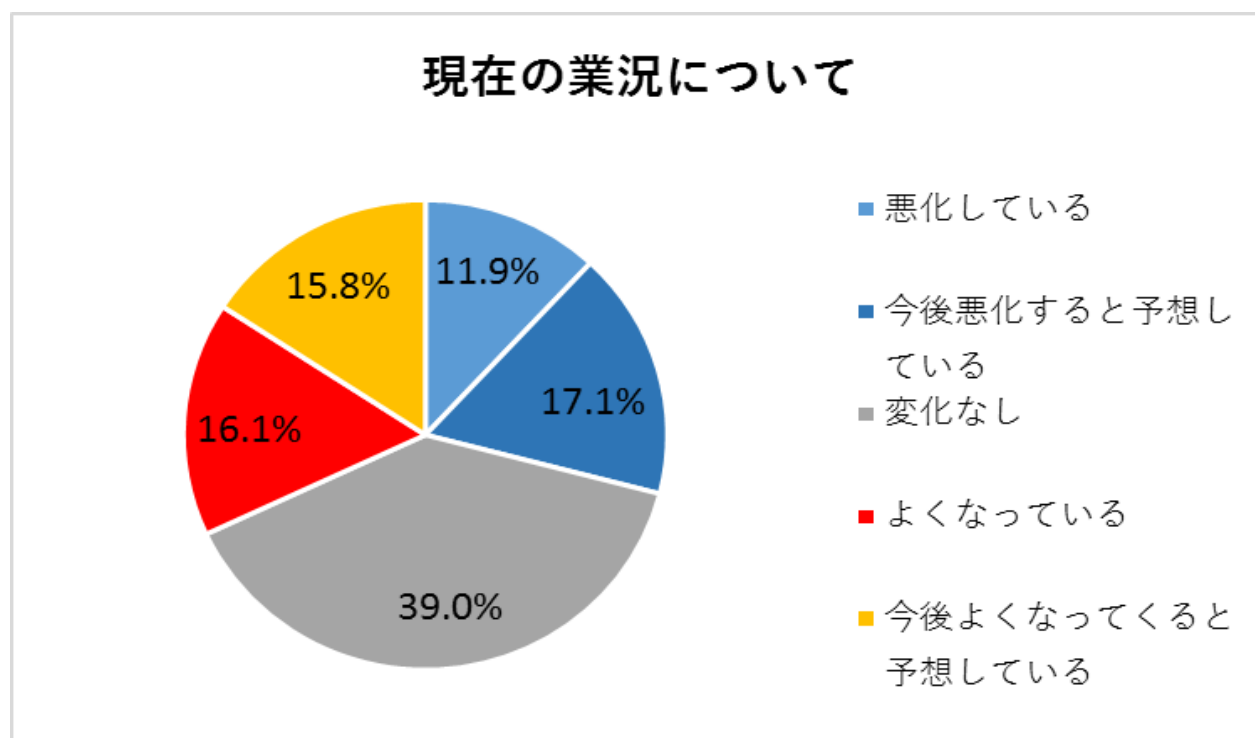
回答企業数	310社（うち、製造業52社、非製造業258社）
調査企業数	646社
調査時期	2023年4月
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施（中小企業動向調査と同時に実施）

今回のアンケートでは、原材料・仕入価格の上昇に伴う価格転嫁は堅調に進んでいる様子が伺えます。他方、当行での聴き取りによると電気料金の上昇、人件費増加分までの価格転嫁は進んでおらず、経費削減を進めることで利益確保に努めている県内企業の様子が伺えます。また、川上から川下への商流の中で、価格転嫁が川上で止まってしまい、川下まで十分な価格転嫁が進んでいないとの声も聞こえてきます。しかし、当面この状況は変わらないことが予想され、中小企業は新しい事業の構築や省エネや代替エネルギーの確保などの取組みをしていくことが必要となってきます。

また、脱炭素への取組みについてのアンケートでは、「脱炭素の取組みは必要である」という認識は全体の50%を超えています。これは、脱炭素の取組みが世界全体のためだけでなく個々の企業の業績にも影響するものであるという認識が広まってきている結果だと言えます。富山県内では実際、脱炭素の取組みを行っている企業は25%程度ですが、今後着実に増加していくと思われます。その中で、自社ではどのようなことをすべきか、どのようなことをしていくのかを含め情報収集から始めていくことが大切です。

現在の業況等に関するアンケート

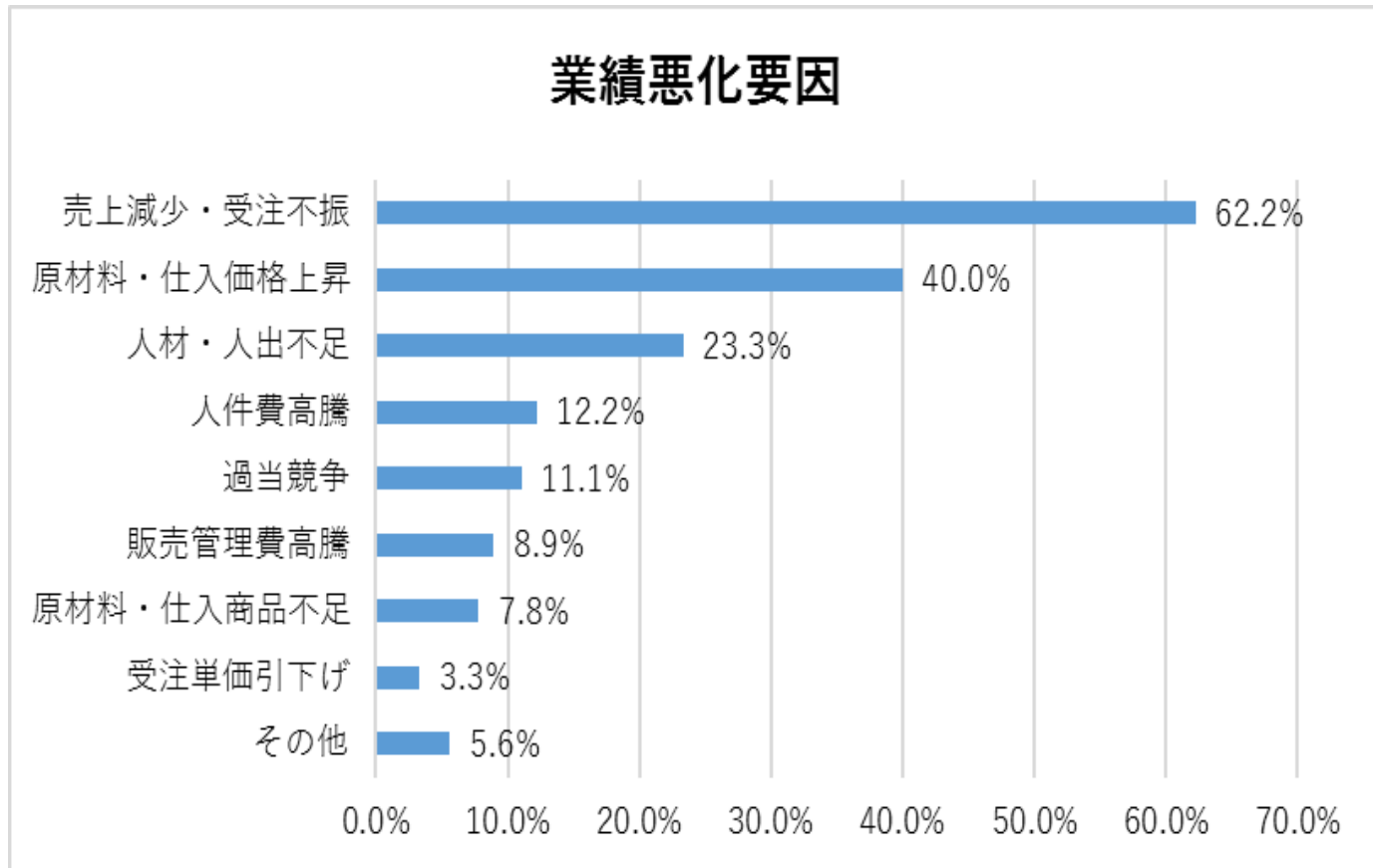
設問1 : 現在の業況について教えてください



「変化なし」と答えた企業が最も多く39.0%となっています。次いで多いのが「今後悪化すると予想している」が17.1%「悪化している」が11.9%となっており、全体の29.0%が悪化、今後悪化するとの回答となっています。前回調査時（35.9%）と比較し、悪化、今後悪化すると回答した企業は減少傾向にあります。

設問2： 悪化の要因はなんですか

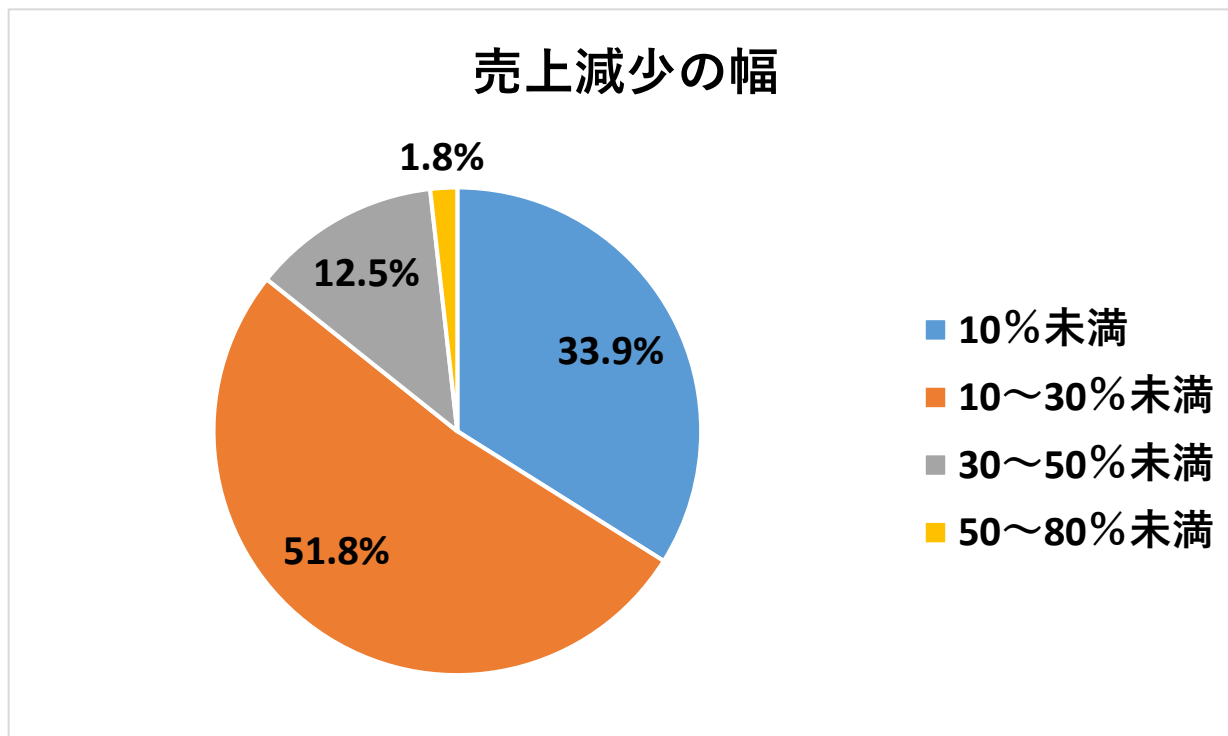
※設問1で「悪化している」、「今後悪化すると予想している」と回答された方のみ回答(複数回答可)



「売上減少・受注不振」と答えた企業が最も多く、62.2%となっています。次いで多いのが「原材料・仕入価格の上昇」で40.0%。「人材・人手不足」で23.3%となっています。

設問3： 売上（受注）の減少幅はどれくらいですか

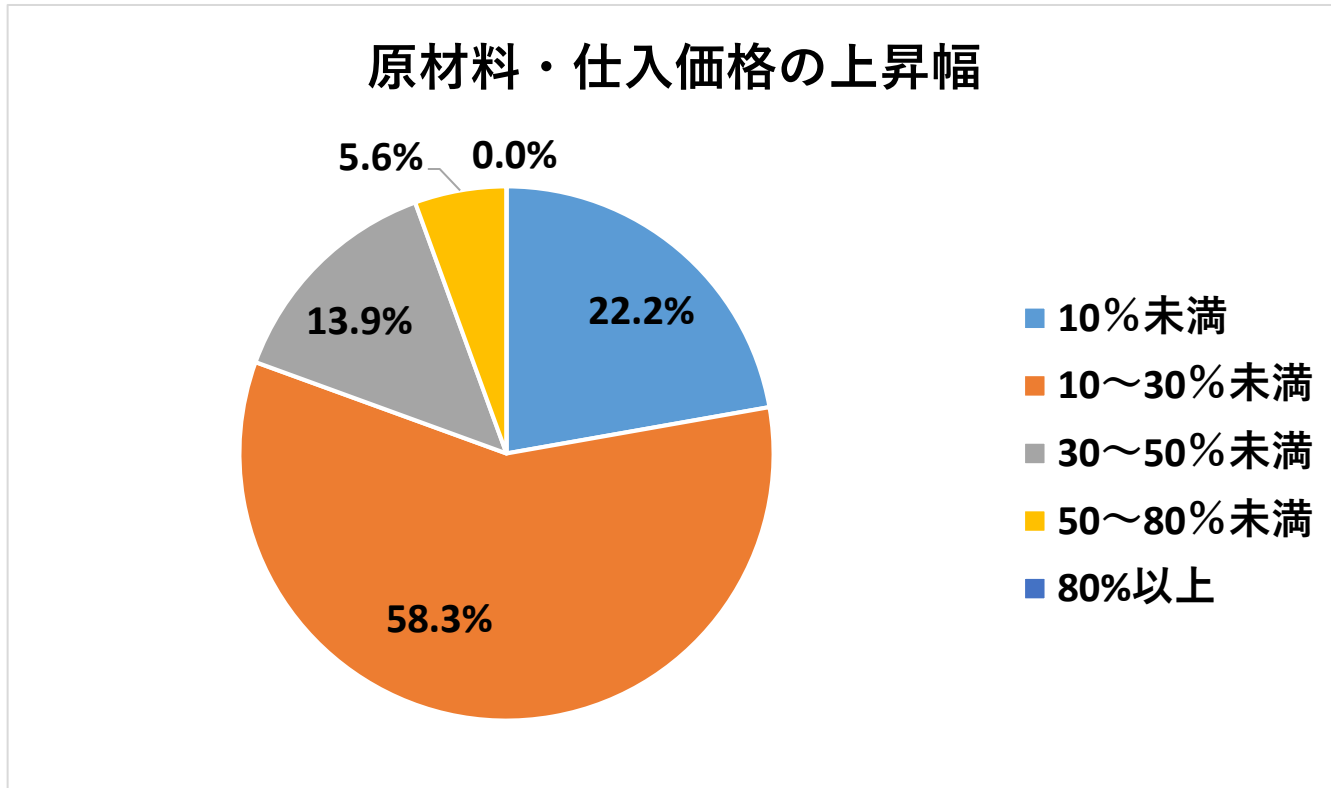
※設問2で「売上減少・受注不振」と回答された方のみ回答



「10~30%未満」と答えた企業が前回調査時（47.3%）より増加し51.8%となっています。次いで多いのが「10%未満」で33.9%となり前回比△1.2ポイントとなっています。

設問4： 原材料・仕入価格の上昇はどのくらいですか

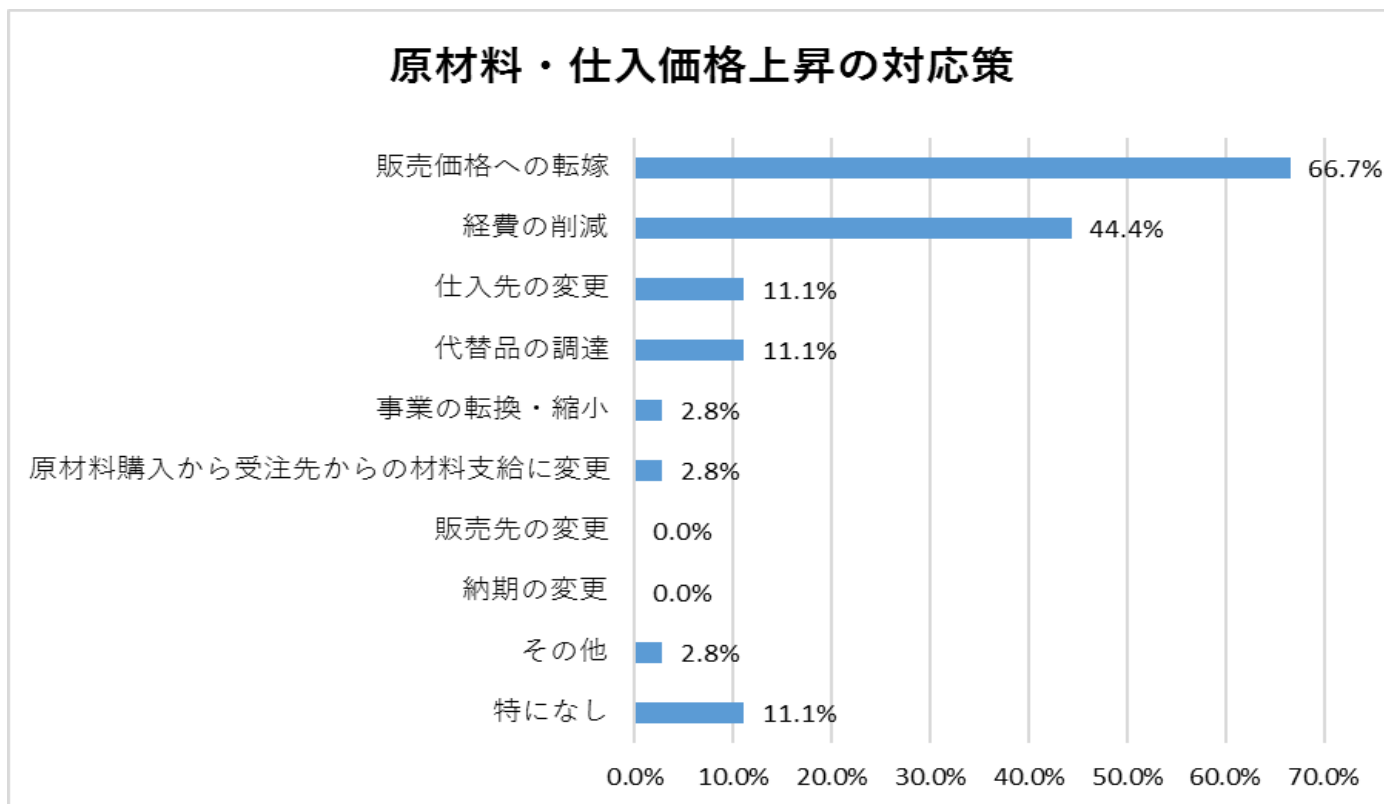
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答



「10~30%未満」と答えた企業が最も多く58.3%となり前回比1.9ポイントとなっています。ついで多いのが「10%未満」で22.2%（前回比0.4ポイント）、「30~50%未満」13.9%（前回比△4.3ポイント）となっています。

設問5： 原材料・仕入価格上昇の対応策としてどのようなことをしましたか

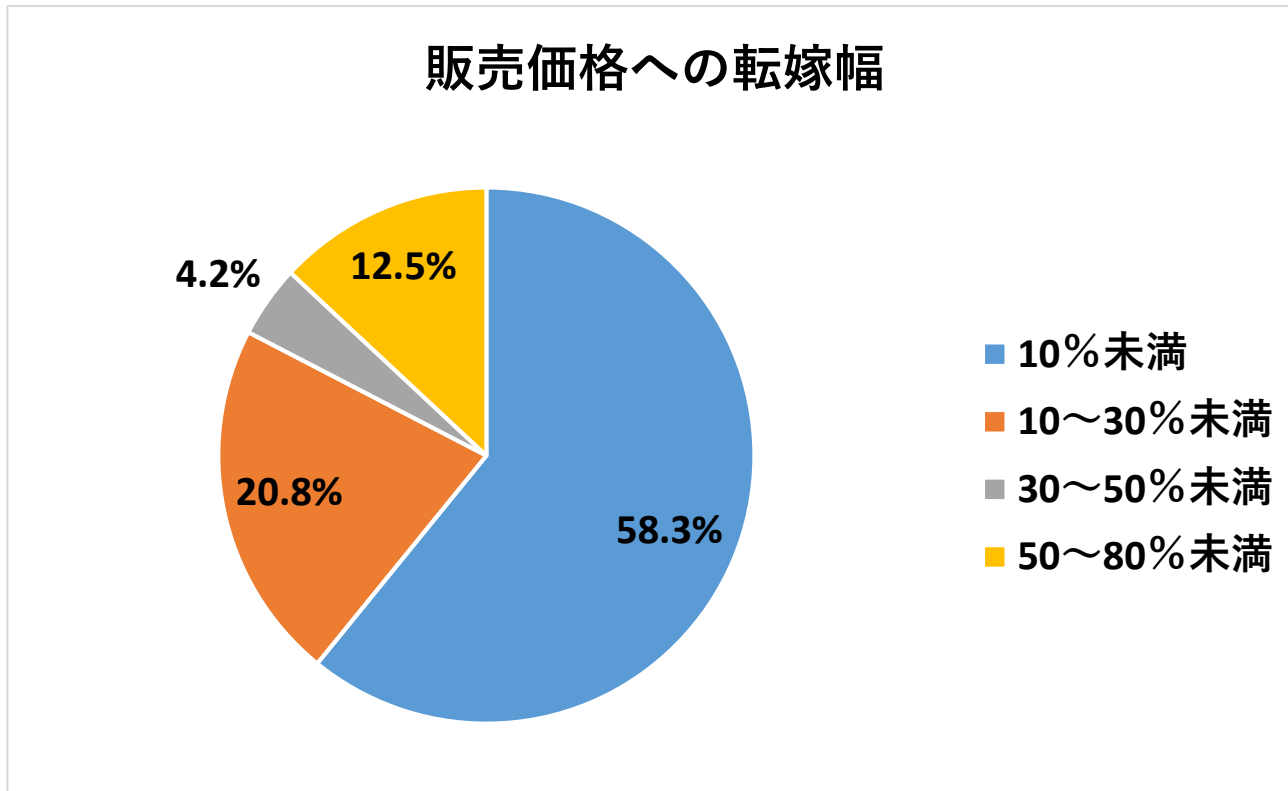
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答（複数回答可）



「販売価格への転嫁」と答えた企業が最も多く66.7%（前回比1.2ポイント）となり価格への転嫁が少しずつ進んでいます。次いで多いのが「経費の削減」で44.4%となり前回比11.7ポイントと大きく上昇しています。

設問6 : どれくらい価格転嫁されましたか

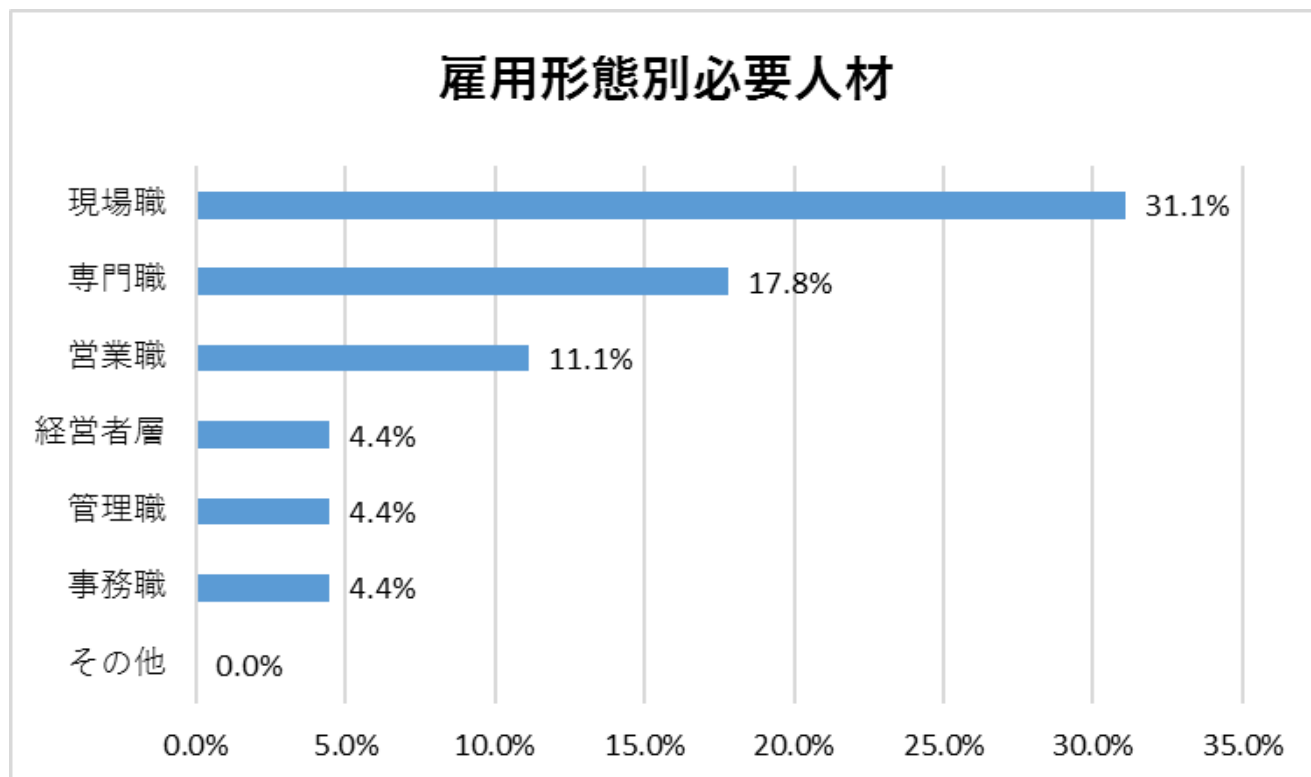
※設問5で「販売価格への転嫁」と回答された方のみ回答



「10%未満」が最も多く58.3%となっています。前回調査時は41.7%であり前回比16.6ポイント上昇しており、原材料高の上昇に販売価格の転嫁がついていない状況となっています。次いで多いのが「10%~30%未満」で20.8%となっています。

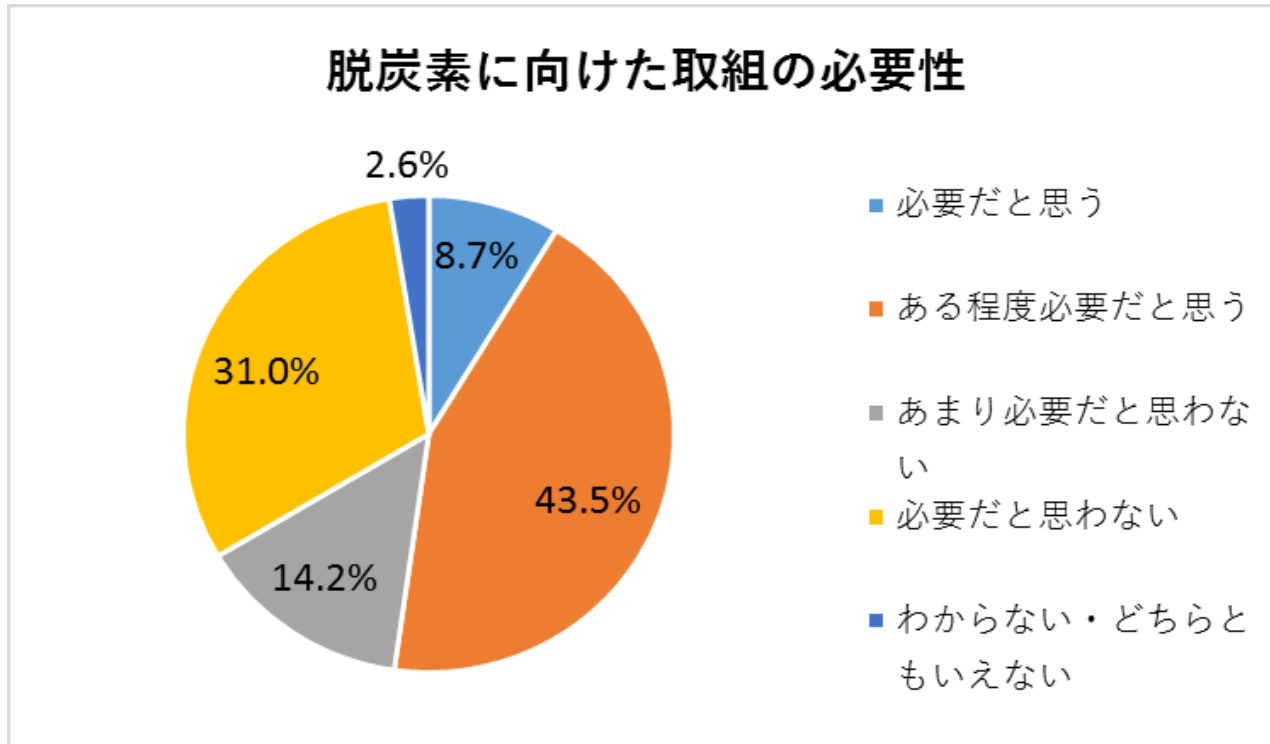
設問7 : どのような雇用形態の人材・人手が不足していますか

※設問1で「人材・人手不足」と回答された方のみ回答



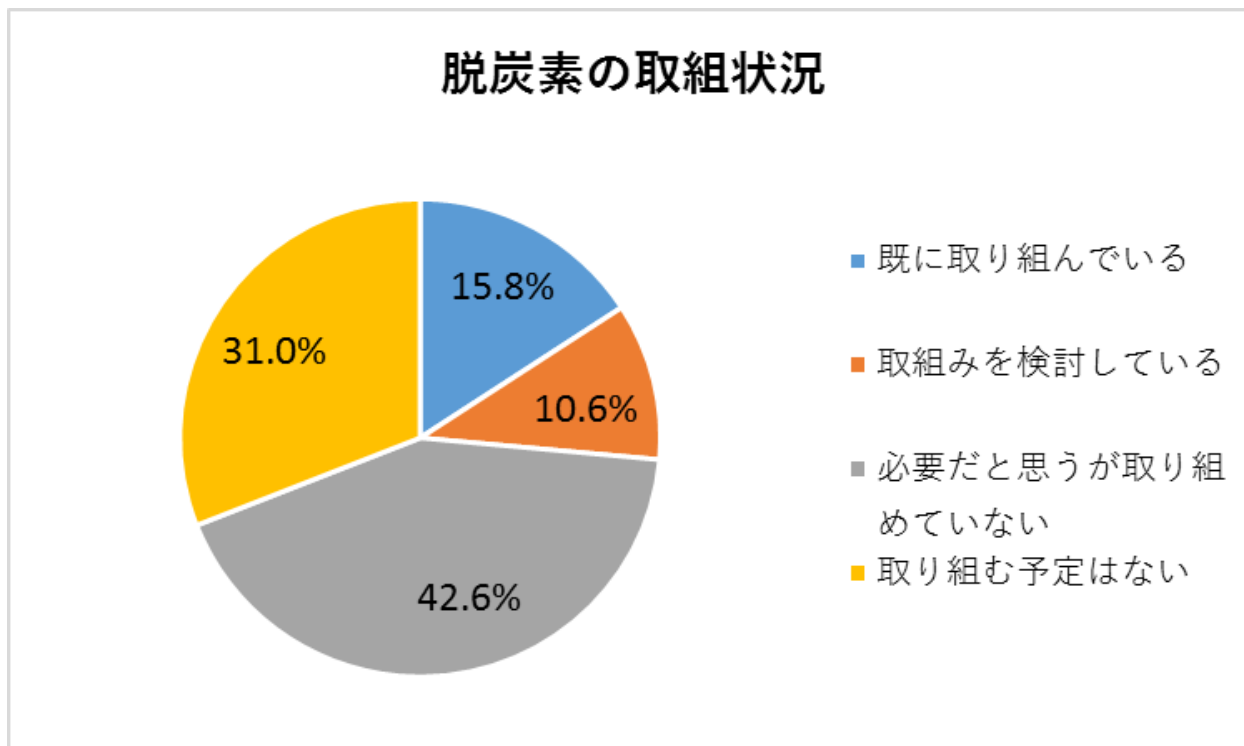
不足している人材・人手として「現場職」が最も多く31.1%、次いで「専門職」が17.8%、「営業職」が11.1%となっています。

設問8 : 脱炭素に向けた取組みについて必要だと思いますか



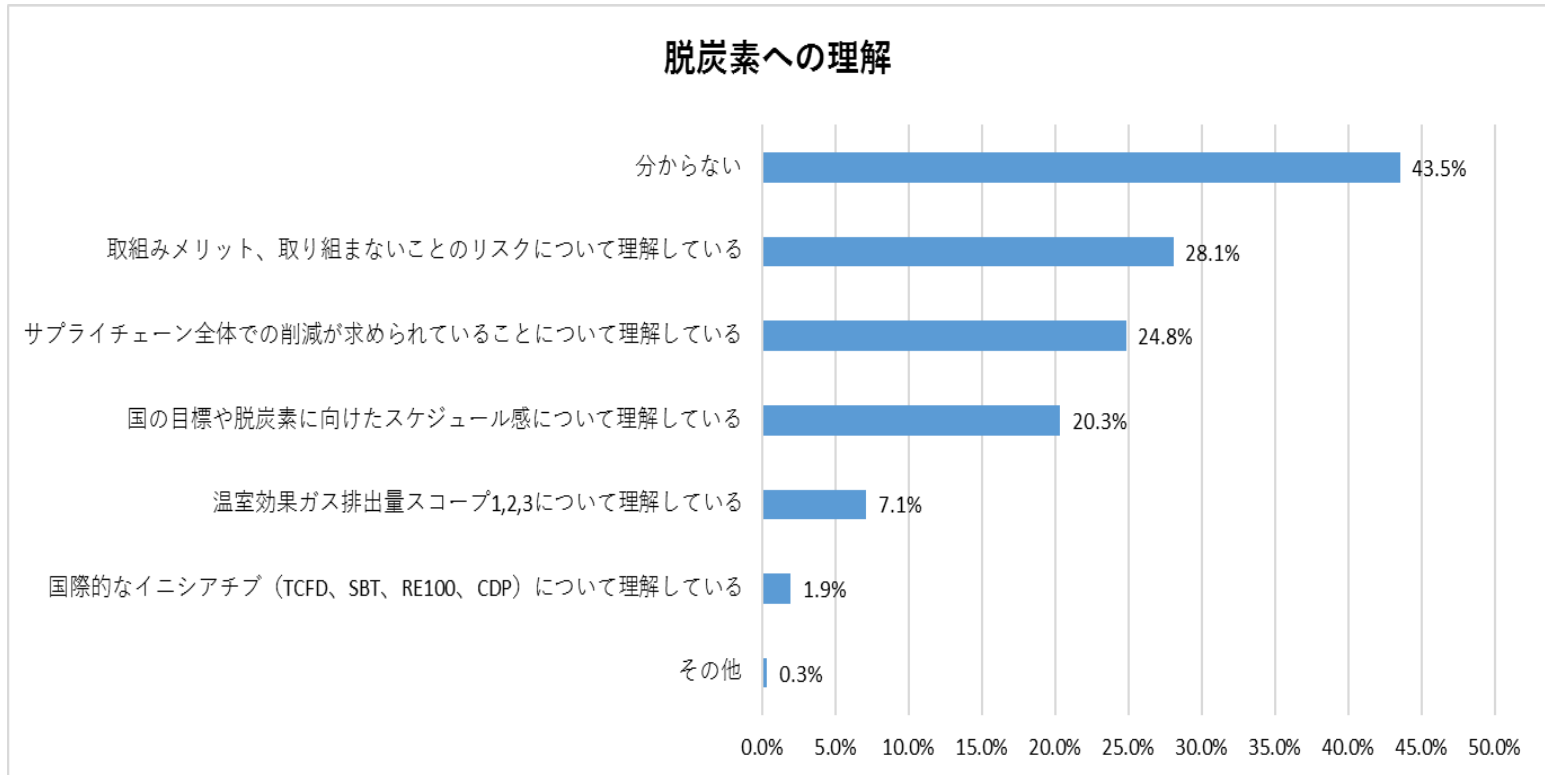
「必要だと思う」「ある程度必要だと思う」の合計が52.2%であり、脱炭素に向けた取組みが必要があるという認識は5割を超えています。

設問9 : 脱炭素の取組状況について



「必要だと思うが取り組めていない」という回答が最も多く42.6%となっており、必要ではあると認識しているものの実際の行動には移せていない実態があります。ただし、脱炭素に向けてを実施、検討しているという回答も26.4%あり、富山県内企業においても脱炭素の取組みが広がりつつあるといえます。

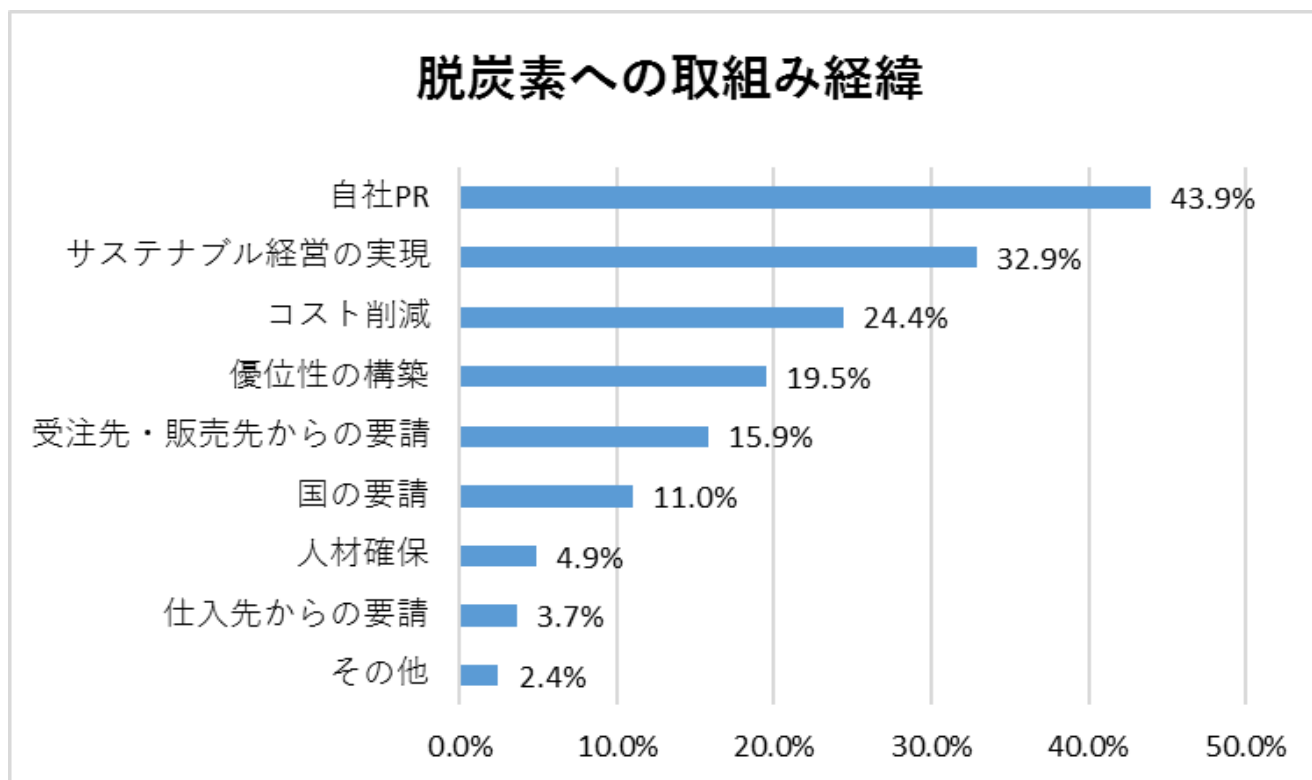
設問10 : 脱炭素に対する理解について



「分からない」という回答が最も多く43.5%となっています。しかし、「取組むメリット、取組まないリスク」について理解がある企業が28.1%、「サプライチェーン全体での削減が求められていることを理解」している企業が24.8%にのぼっています。脱炭素について「分かる」という企業が約半数存在するという事は、今後も脱炭素へ向けた取り組みが進んでいくことを示唆していると言えます。

設問11 : 脱炭素への取組み経緯について教えてください

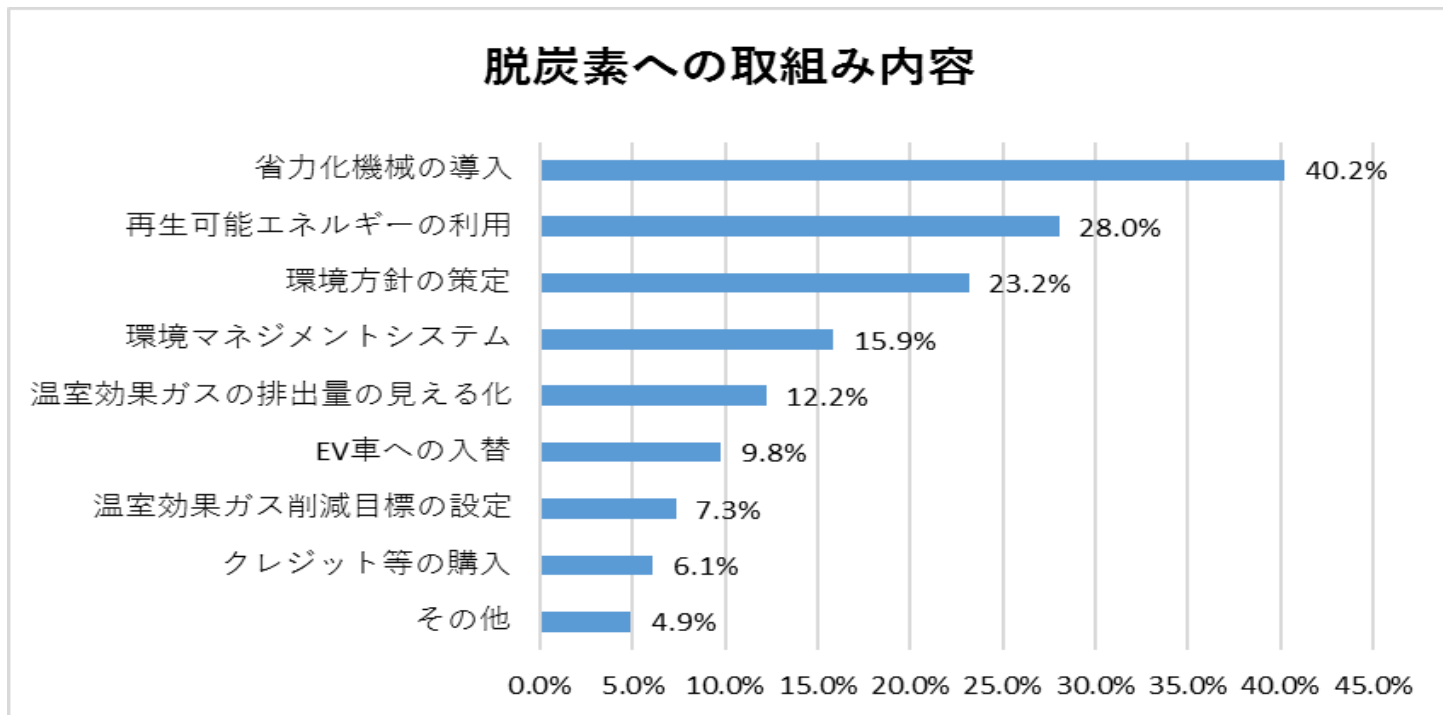
※設問9で「既に取り組んでいる」、「取組を検討している」と回答した方のみ回答（複数回答可）



脱炭素への取組経緯については、自社PRと回答された数が最も多く43.9%、次いでサステナブル経営の実現を目指しているとの回答が32.9%となっています。また、優位性の構築という回答も19.5%と高く、取組みを進めている企業は脱炭素への取組みは経営を行う上で自社のメリットとなると考えている会社が多いことが分かります。

設問12 : 脱炭素への取組み内容について教えてください

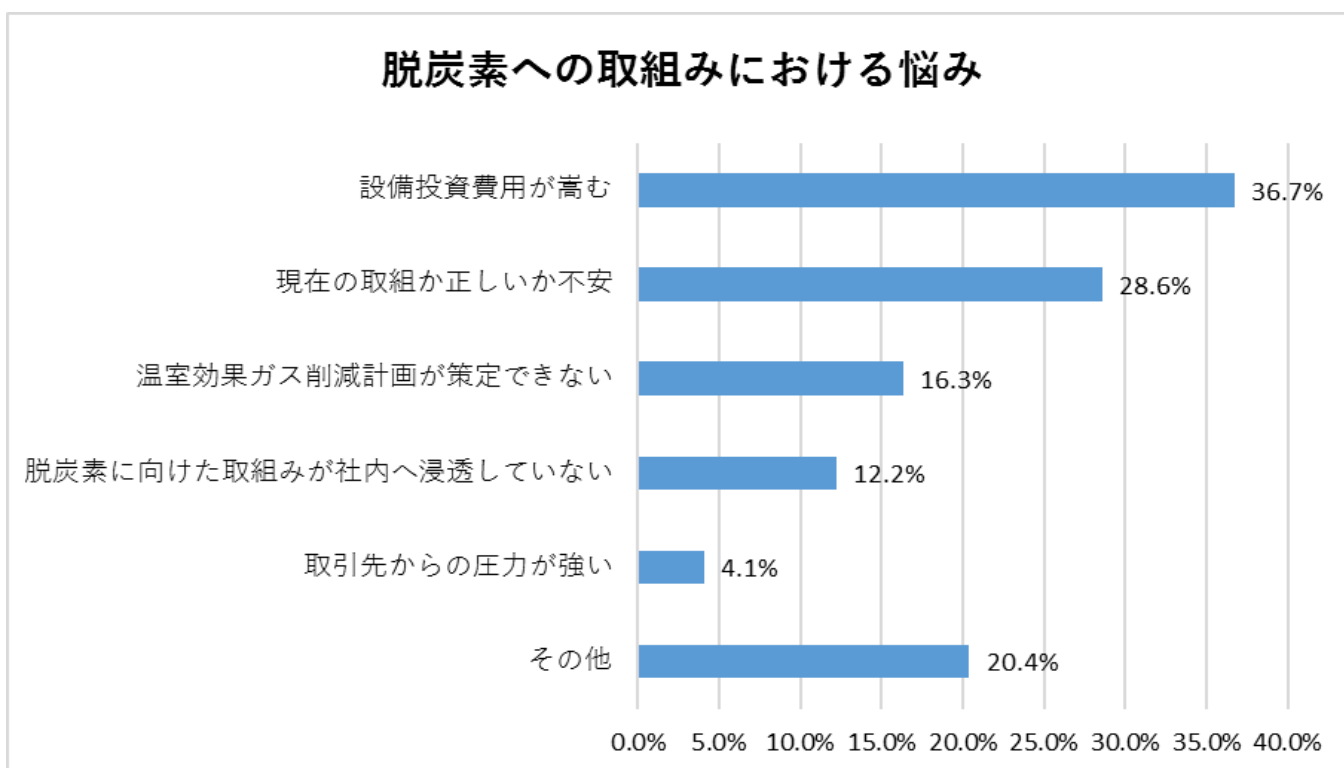
※設問9で「既に取り組んでいる」、「取組を検討している」と回答した方のみ回答（複数回答可）



脱炭素への取組の内容については、省力化機械の導入が最も多く40.2%、次いで再生可能エネルギーの利用が28.0%となっています。また、環境方針の策定を行っている企業が23.2%となっており、ハード面での取組み、ソフト面での取組みとも進めていることがわかります。

設問13 : 脱炭素への取組みにおける悩みについて教えてください

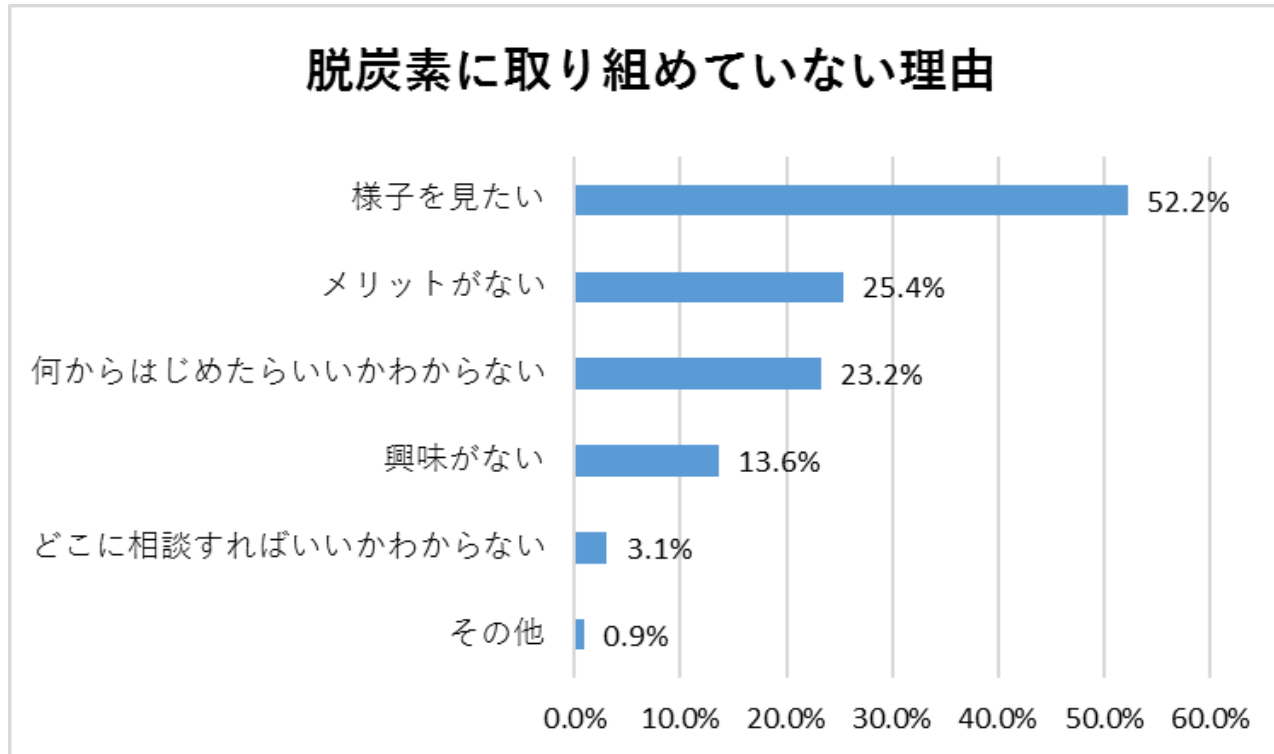
※設問9で「既に取り組んでいる」と回答した方のみ回答（複数回答可）



脱炭素への取組みにおける悩みとして多いのが、「設備投資費用がかさむ」であり36.7%、次いで多いのが「現在の取組みが正しいか不安」であり28.6%となっています。費用面での悩みと取組み自体のやり方、進め方などについて悩みが多い結果となっています。

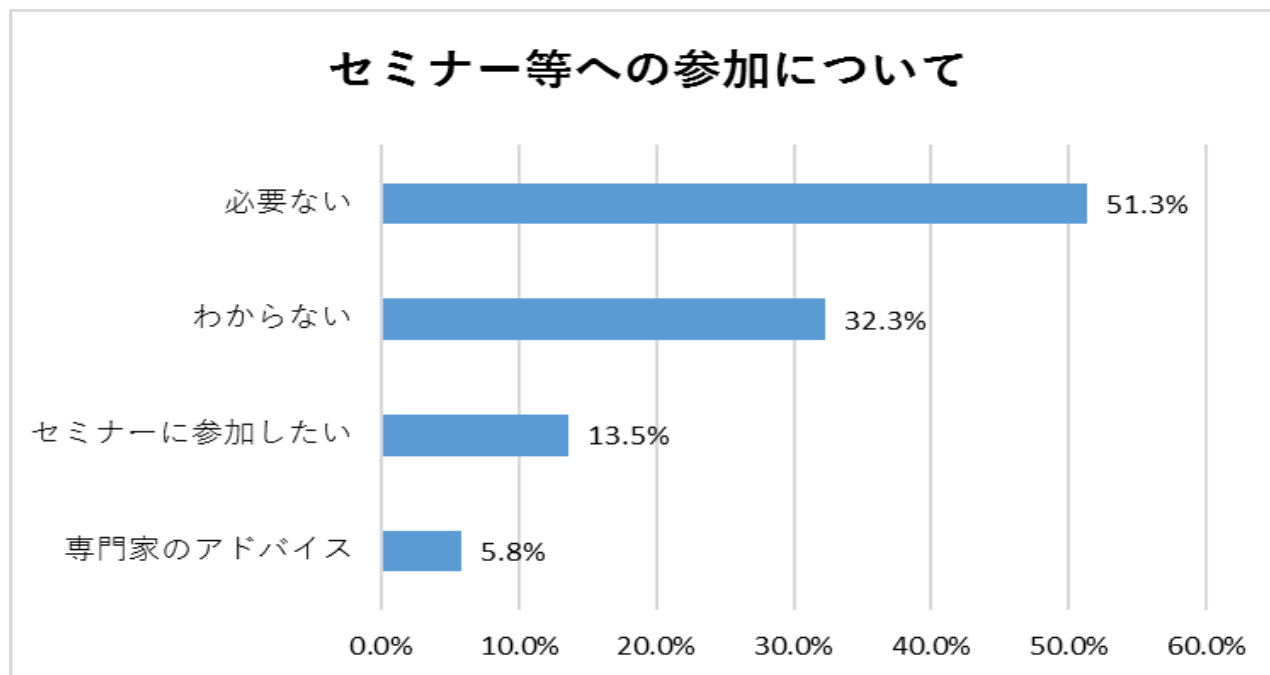
設問14 : 脱炭素に取り組めていない理由について教えてください

※設問9で「必要だと思うが取り組めていない」、「取り組む予定はない」と回答した方のみ回答（複数回答可）



脱炭素に取り組めていない理由として、「様子を見たい」が最も多く52.2%、次いで「メリットがない」が25.4%、「何からはじめたらいいかわからない」が23.2%となっています。企業にとって、脱炭素の取組みが会社にとってどのような影響を及ぼすのか、社会全体にどのような影響を及ぼすのかの理解が深まる必要があると考えます。

設問15 : 今後、脱炭素に向けたセミナー等の参加や専門家からのアドバイスを求めますか



セミナー等への参加については、「必要ない」が最も多く51.3%、次いで「わからない」が32.3%、「セミナーに参加したい」が13.5%となっています。

×毛

法人コンサルティングサービスのご案内

お客さまのお取り組み

売上増加

成長戦略

経営改善

事業承継

IT・効率化

人事施策

サステナブル

気候変動

ガバナンス



将来のあるべき姿
を考えたい

経営課題を
解決したい

サステナブル経営
を実現したい

幅広いメニューであらゆるステージに対応しています

コンサルティング面でのサポート

【コンサルティングサービス（伴走支援）】

- 成長戦略策定支援サービス
- 経営改善支援サービス
- 各種補助金申請のご支援
- BCP計画策定サポート
- DXコンサルティング
- 人事評価制度・賃金体系

【SDGs取組支援サービス】

- お客さまのSDGs宣言のサポートから、SDGsに資する取組みの実行をサポートいたします

【カーボンニュートラルサービス】

- お客さまのCO2排出量の算出
- CO2削減ソリューションのご提案
- 再生可能エネルギー導入のご提案
- SBT認証（国際認証）の取得

【ビジネスマッチング】

- 経営課題を解決する最適なツールをご提案
- 企業同士のニーズとシーズの引き合わせ
- アウトソーシングニーズ、コストダウンニーズ、不動産ニーズ、リースニーズにも対応

【人材紹介】

- 必要な人材を紹介し、お客さまの経営力強化に貢献します

【事業承継・M&A】

- 事業承継、M&A、親族承継から第三者承継まで、あらゆる状況に応じた最適なお支援を実施します

サステナブル面でのサポート

【ファーストSDGs私募債（寄贈型）】

- 手数料の優遇金額分を、ご利用のお客さまの目的に応じて寄付を行なう仕組みです

【ファースト・サステナビリティ・リンクローン】

- 本枠組みで、お客さまのサステナビリティの将来計画するお取組みに対して、第三者評価機関から評価を得て対外的にアピールします
- お客さまの経営理念、行動指針の具現化へのESG目標を定め行動することで、お客様の持続可能性と社会への貢献を高めることをサポートします

【ファースト・グリーンローン】

- 高い環境効果があるグリーンプロジェクトをファイナンスでサポートいたします。本枠組みの中で、外部評価機関の認証を取得し、お客さまのお取組みを対外的にアピールします

【ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

- 経済・環境・社会の3つの側面について、企業活動から生まれるポジティブ・ネガティブなインパクトを定量化し、独自の目標を設定する一連のお取組みに対して分析・評価し、対外的にアピールします

【省エネルギー設備投資に係る利子補給】

- 省エネ設備投資に対する金融支援

【地域脱炭素融資促進利子補給】

- 低炭素設備投資に対する金融支援（再生可能エネルギー等）

中小企業のお悩みに効く!

 富山第一銀行

売上UP

どうすれば…

販路拡大

方法は…

後継者

決められない…

人材育成

進まない…

企業の常備薬として

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その思い富山第一銀行に聞かせてください。

 富山第一銀行 <https://www.first-bank.co.jp/business/>